

鋁工業指数 参考資料

(平成28年1月速報)

平成28年2月29日
經濟解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成28年1月(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	99.8	97.9	112.0	113.6
前月比	3.7%	3.4%	▲ 0.3%	▲ 2.1%
指数水準	H27.1 102.1以来 I H20.2 117.3 II H20.1 117.0 III H20.3 116.2	H27.10 98.8以来 I H20.1,2 118.2 II H20.3 118.1 III H20.5 116.4	H27.11 111.9以来 ①H23.3 97.7 ②H22.8 98.3 ③H21.12,H22.9 99.1	H27.10 112.0以来 ①H20.2 94.6 ②H20.4 95.9 ③H20.5 97.0
前月比の動き	3か月ぶり+ (H27.10以来)	3か月ぶり+ (H27.10以来)	3か月ぶり▲ (H27.10以来)	3か月ぶり▲ (H27.10以来)
前月比幅	H27.1 4.1%以来 I H23.5 6.8% II H21.4 4.4% III H23.6 4.2%	H27.1 5.5%以来 I H23.6 8.0% II H23.5 5.6% III H27.1 5.5%	H27.10 ▲1.9%以来 ①H23.3 ▲5.8% ②H21.2 ▲3.9% ③H21.3 ▲3.1%	H27.10 ▲3.0%以来 ①H23.6 ▲11.7% ②H21.6 ▲6.7% ③H21.3 ▲6.0%
前年同月比(原指数)	▲ 3.8%	▲ 5.9%	0.2%	4.2%
前年同月比の動き	2か月連続▲ (H27.12~当月)	2か月連続▲ (H27.12~当月)	3か月ぶり+ (H27.10以来)	2か月連続+ (H27.12~当月)
前年同月比幅	H27.5 ▲3.9%以来 ①H21.2 ▲37.2% ②H21.3 ▲32.7% ③H21.4 ▲30.0%	H25.2 ▲8.6%以来 ①H21.2 ▲36.1% ②H21.3 ▲32.1% ③H21.1 ▲30.9%	H27.10 0.2%以来 (超) H27.9 2.1%以来 I H24.3, 4 12.1% II H23.8 9.0% III H23.9 8.1%	H27.5 6.4%以来 I H21.2 64.6% II H21.1 54.8% III H21.3 47.9%

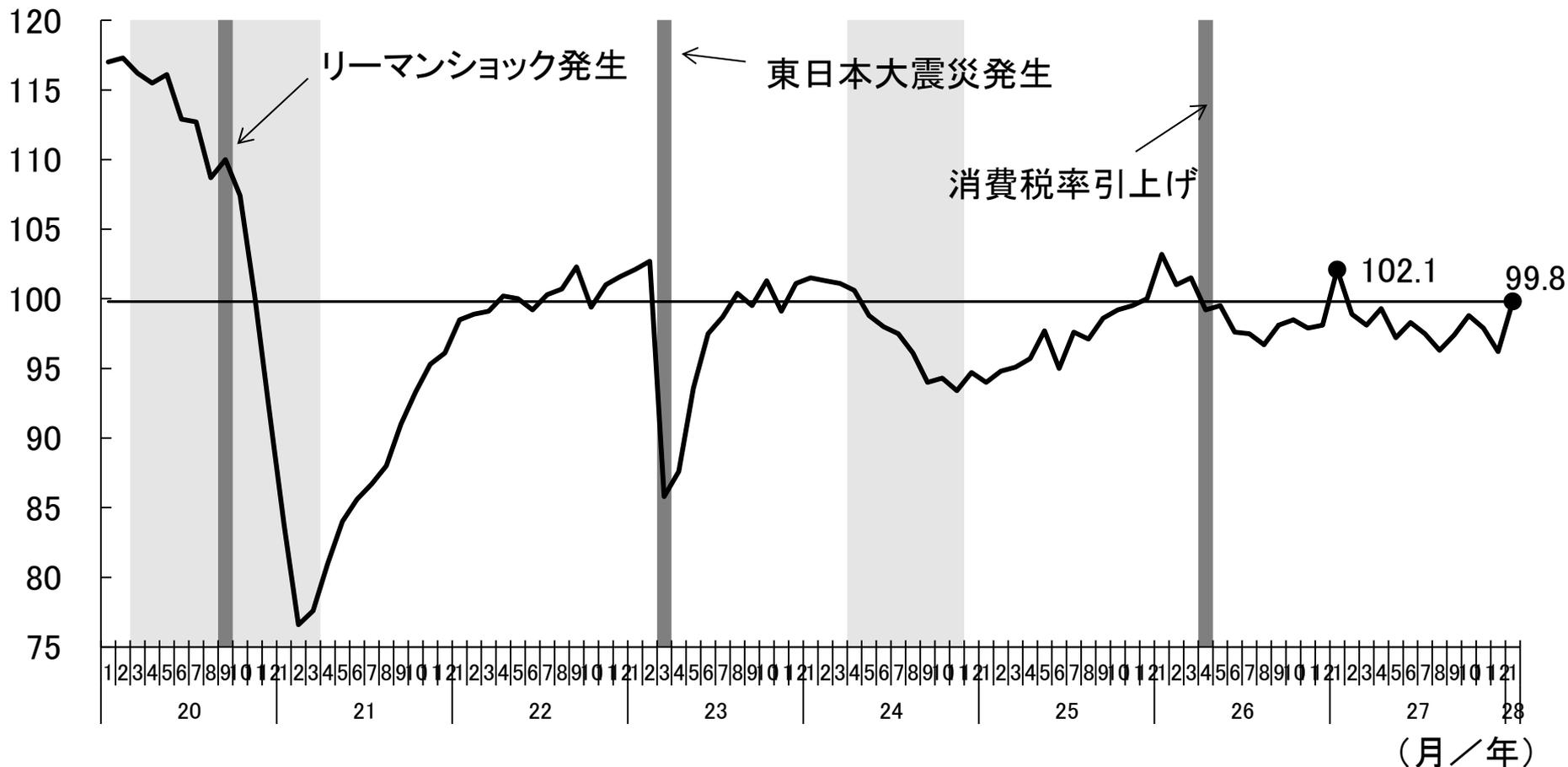
1) ▲はマイナス

2) I ~ IIIは22年基準における最大値から上位3位まで、①~③は最小値から下位3位までの数値

鉱工業生産指数の動向

- 平成28年1月の生産指数は99.8(前月比3.7%)と3か月ぶりの上昇。
- 平成27年1月の102.1以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



- (注) 1. 鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標。
2. 薄色シャドー部分は景気後退局面。

平成28年1月 「生産は一進一退」

基調判断の推移

- ・平成25年9月～26年3月
「生産は持ち直しの動き」
- ・平成26年4月～5月
「生産は横ばい傾向」
- ・平成26年6月～8月
「生産は弱含み」
- ・平成26年9月～11月
「生産は一進一退」
- ・平成26年12月～平成27年4月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成27年5月～7月
「生産は一進一退」
- ・平成27年8月
「生産は弱含み」
- ・平成27年9月～
「生産は一進一退」

鉱工業生産指数

四半期ベース

(平成22年=100、季節調整済)

	指数	前期比 (%)
平成26年 IV期	98.2	0.8
平成27年 I期	99.7	1.5
II期	98.3	▲1.4
III期	97.1	▲1.2
IV期	97.6	0.5
平成28年 I期	(97.3)	(▲0.3)

月次(3か月移動平均値)ベース

(平成22年=100、季節調整済)

	指数	前月比 (%)
平成26年 2月	101.9	0.5
3月	100.6	▲1.3
4月	100.1	▲0.5
5月	98.8	▲1.3
6月	98.2	▲0.6
7月	97.3	▲0.9
8月	97.4	0.1
9月	97.8	0.4
10月	98.2	0.4
11月	98.2	0.0
12月	99.4	1.2
平成27年 1月	99.7	0.3
2月	99.7	0.0
3月	98.8	▲0.9
4月	98.2	▲0.6
5月	98.3	0.1
6月	97.7	▲0.6
7月	97.4	▲0.3
8月	97.1	▲0.3
9月	97.5	0.4
10月	98.0	0.5
11月	97.6	▲0.4
12月	98.0	0.4
平成28年 1月	(96.9)	(▲1.1)
2月	(97.3)	(0.4)

(注)

上記の平成28年I期の()及び右表の平成28年1月、2月の()内の数字は、製造工業生産予測指数の伸び率をそのまま鉱工業生産指数の最新月に適用して、機械的に計算したものである。製造工業生産予測指数は、鉱工業指数の対象のうち一部の企業に対して、今後の生産計画を調査したものの。

鋳工業生産を大きく動かした品目

業種別

		業種・品目名	前月比	寄与率
○ 鋳工業生産を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	7.3%	27.6%
	品目	金型	36.6%	5.4%
		土木建設機械	9.8%	4.1%
	2位の業種	輸送機械工業	2.9%	14.9%
	品目	乗用車	4.8%	9.8%
		自動車部品	4.0%	7.2%
○ 鋳工業生産を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい2品目	3位の業種	電子部品・デバイス工業	6.3%	14.1%
	品目	集積回路	18.7%	14.4%
		半導体素子	5.7%	0.9%
	1位の業種	化学工業(除.医薬品)	▲ 0.3%	▲ 0.8%
	品目	化粧品	▲ 4.2%	▲ 3.2%
		有機薬品	▲ 3.3%	▲ 1.0%
2位の業種	石油・石炭製品工業	▲ 1.2%	▲ 0.5%	
	品目	石油製品	▲ 1.2%	▲ 0.5%
3位の業種				
品目				

寄与率:

生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い
全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる

※ **業種別** **全体** 内の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した
分類によるもの。

全体

		品目名	前月比	寄与率
○ 鉱工業生産を上昇方向に引っ張った3品目	1位	集積回路	18.7%	14.4%
	2位	乗用車	4.8%	9.8%
	3位	自動車部品	4.0%	7.2%
○ 鉱工業生産を低下方向に引っ張った3品目	1位	化粧品	▲ 4.2%	▲ 3.2%
	2位	運搬機械	▲ 13.7%	▲ 1.8%
	3位	電子計算機	▲ 6.0%	▲ 1.8%

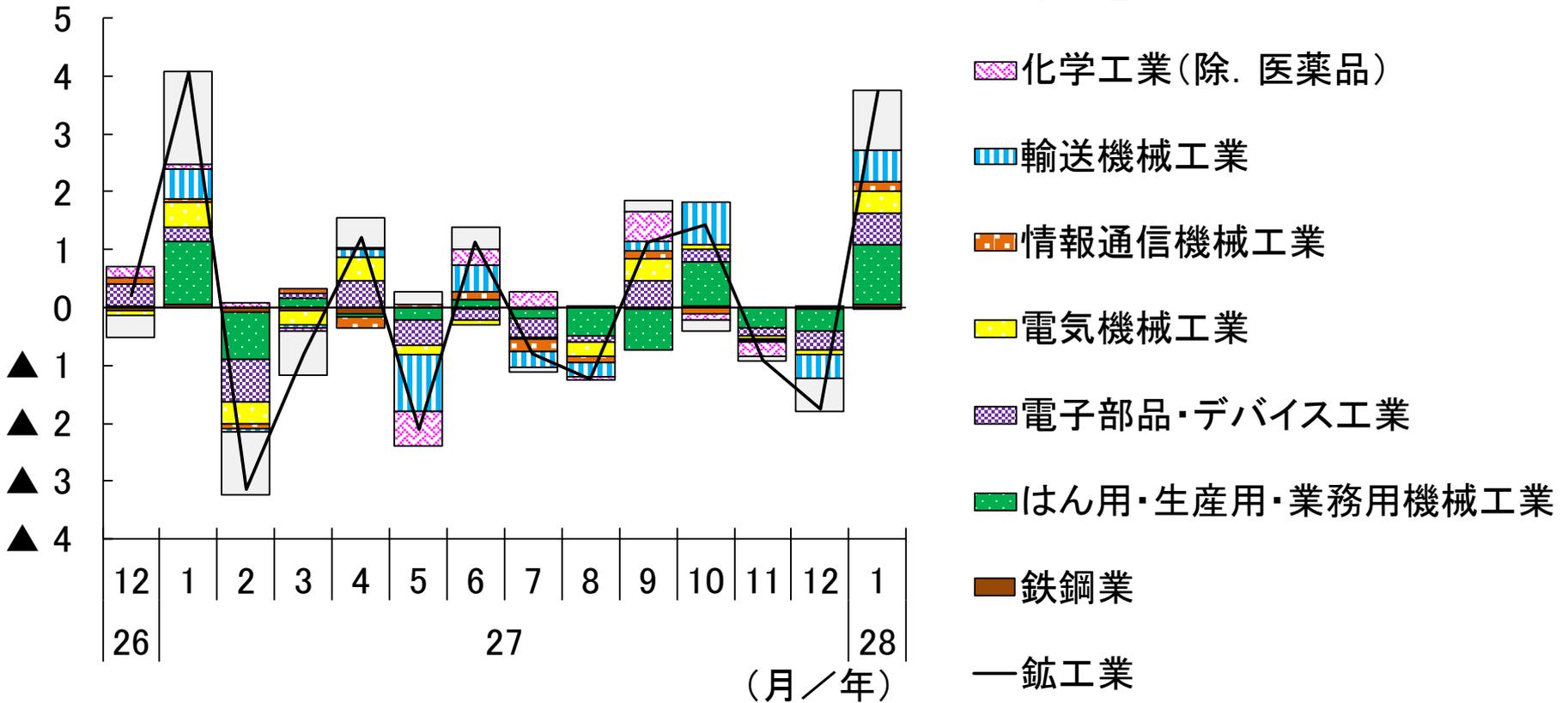
財別(=用途別)

	解説	品目名	前月比	寄与率
資本財	クレーンや金属工作機械など設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	7.2%	29.4%
		半導体製造装置	10.2%	3.2%
		反応用機器	187.1%	2.9%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	2.0%	26.7%
		モス型半導体集積回路(メモリ)	29.2%	10.3%
		モス型半導体集積回路(CCD)	32.5%	3.4%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など家計で購入される製品	耐久消費財	5.6%	15.6%
		普通乗用車	5.5%	7.4%
		カメラ用交換レンズ	37.7%	2.4%
建設財	鉄骨やセメントなど建設投資に向けられる製品	建設財	4.8%	7.2%
		橋りょう	57.8%	5.9%
		木造住宅用アルミニウムサッシ	8.5%	0.5%
非耐久消費財	食料品や衣料品など家計で購入される製品	非耐久消費財	0.7%	2.6%
		合成洗剤	15.6%	2.8%
		美容液	15.6%	1.5%

鉱工業生産への業種別寄与度分解

- 平成28年1月の生産指数(季節調整済)は、はん用・生産用・業務用機械工業などが上昇したため、前月比3.7%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

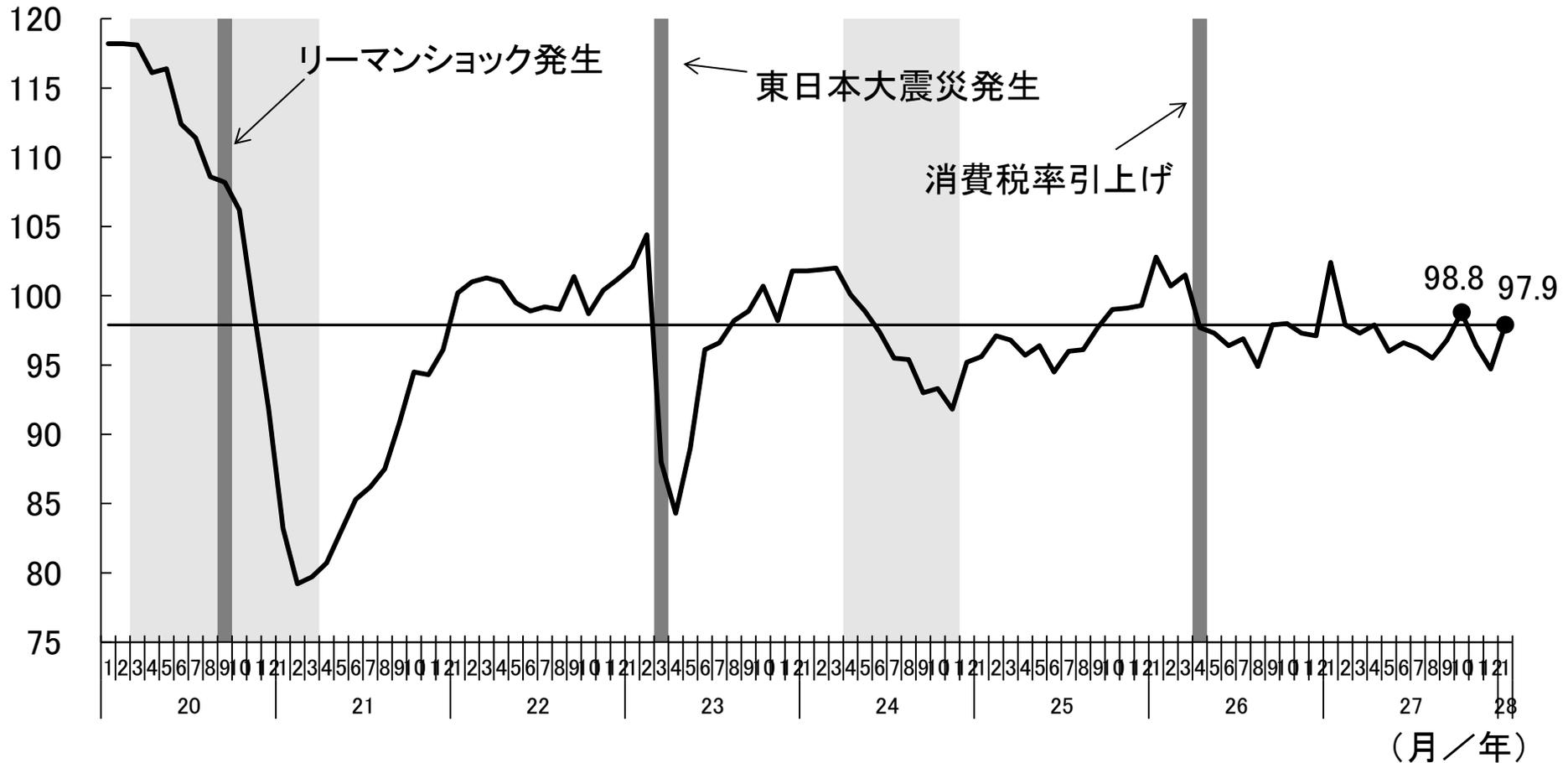


注:その他には、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、繊維工業、食料品・たばこ工業、その他工業、鉱業が含まれる。

鉛工業出荷指数の動向

- 平成28年1月の出荷指数は97.9(前月比3.4%)と3か月ぶりの上昇。
- 平成27年10月の98.8以来の指数水準。

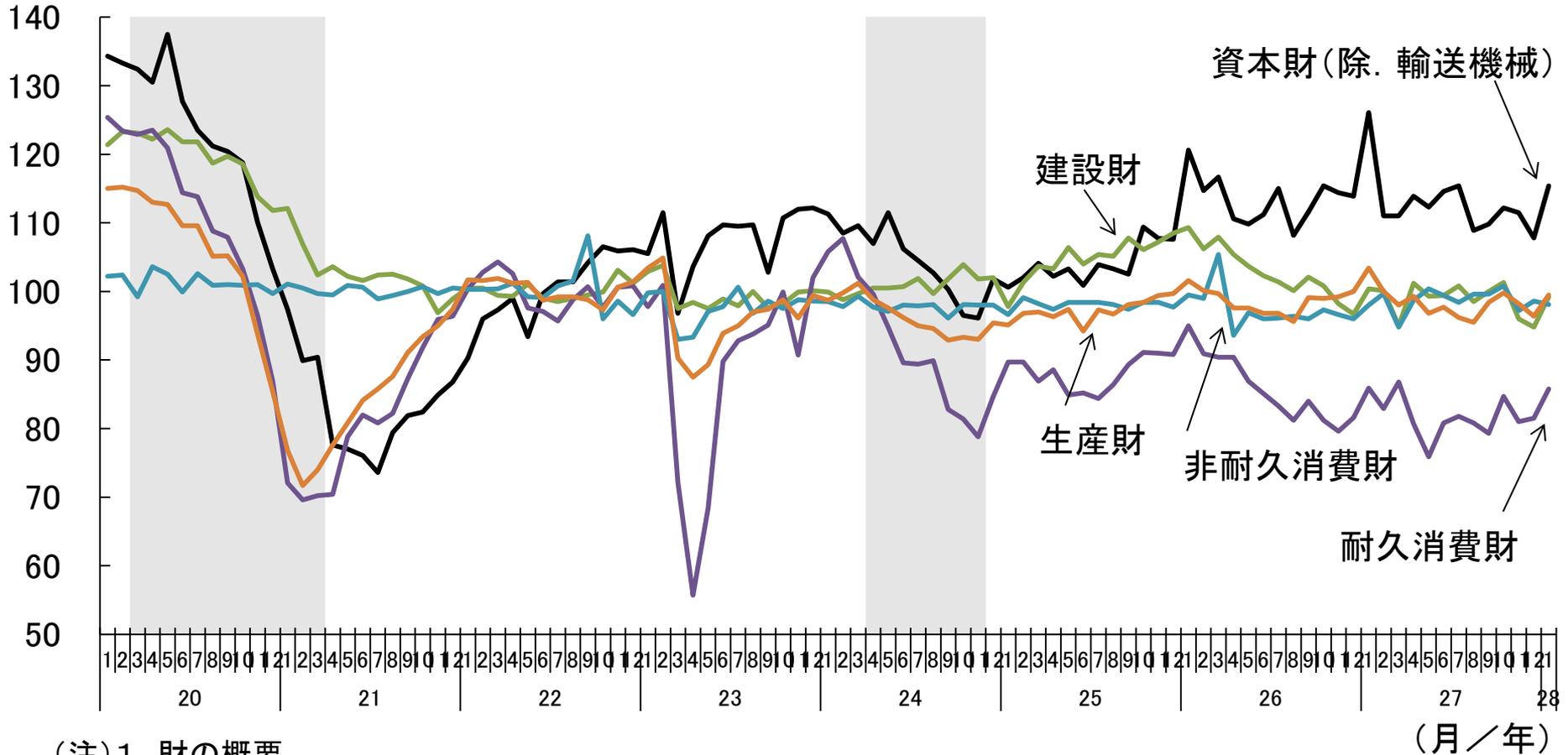
(22年=100、季節調整済)



(注) 薄色シャド一部分は景気後退局面。

財別出荷指数の動向

(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 財の概要

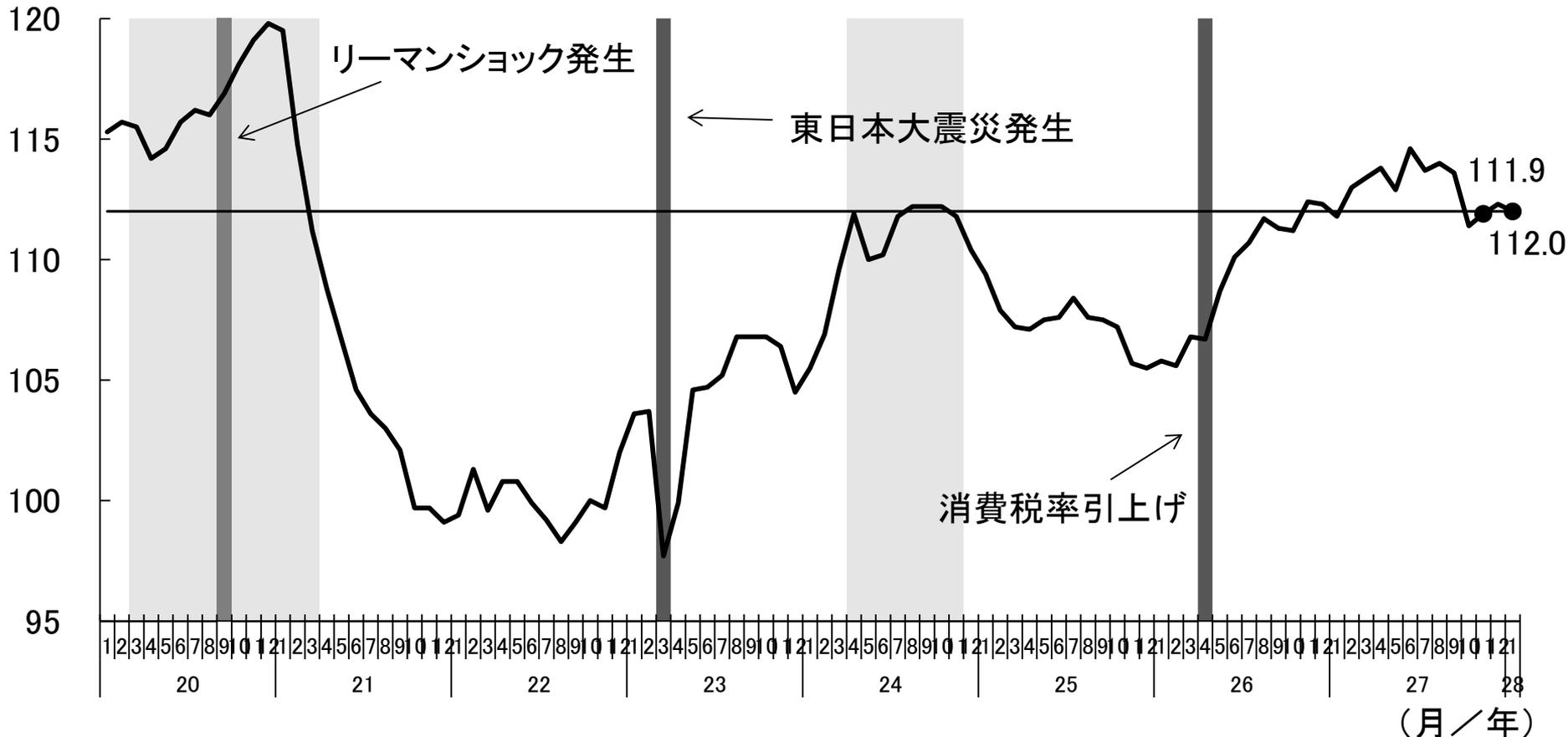
- ・資本財(除. 輸送機械): クレーンや金属工作機械など設備投資に向けられる製品
- ・建設財: 鉄骨やセメントなど建設投資に向けられる製品
- ・耐久消費財: テレビや電気冷蔵庫など家計で購入される製品
- ・非耐久消費財: 食料品や衣料品など家計で購入される製品
- ・生産財: 原材料として投入される製品

2. 薄色シャドー部分は景気後退局面。

鉛工業在庫指数の動向

- 平成28年1月の在庫指数は112.0(前月比▲0.3%)と3か月ぶりの低下。
- 平成27年11月の111.9以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

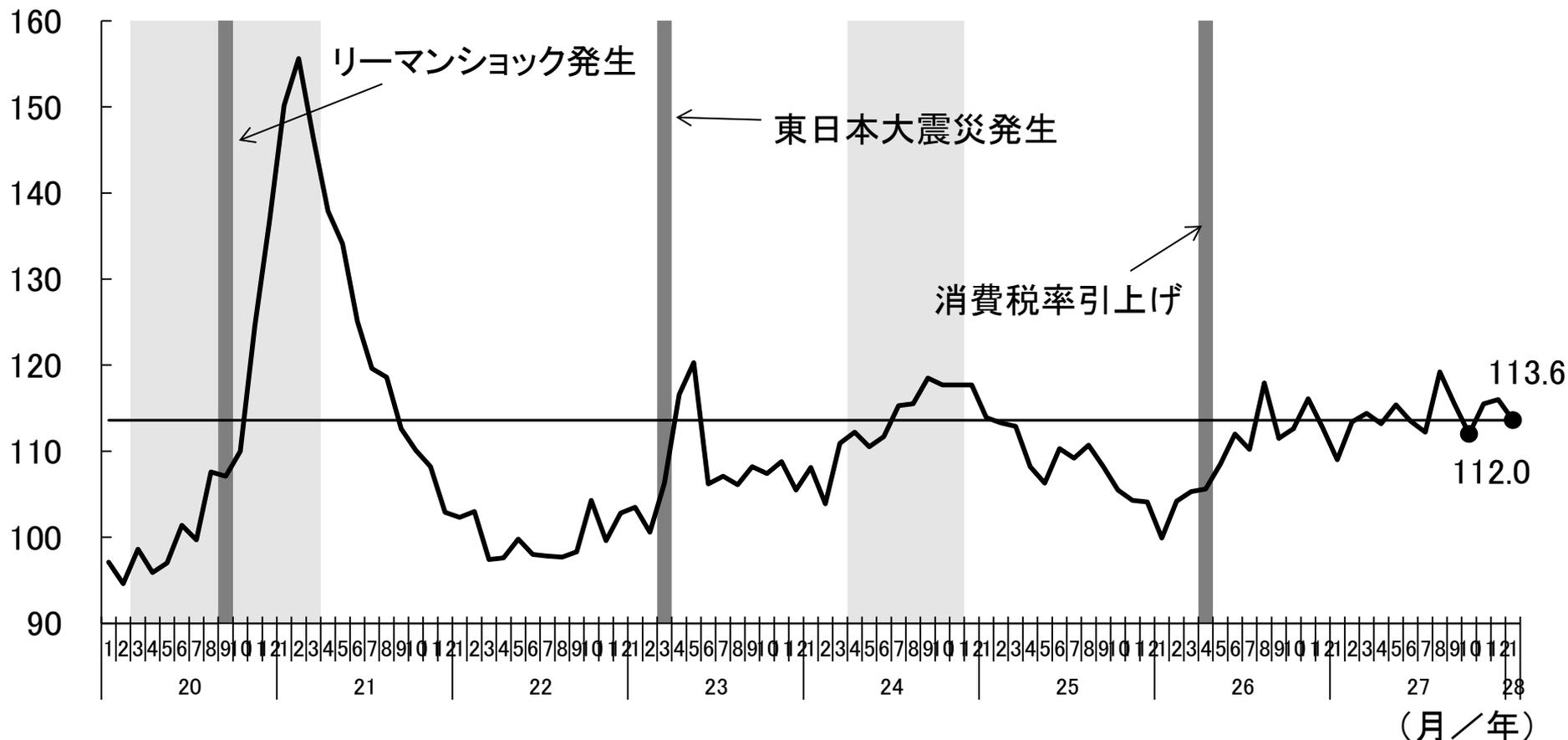


(注)薄色シャド一部分は景気後退局面。

鉱工業在庫率指数の動向

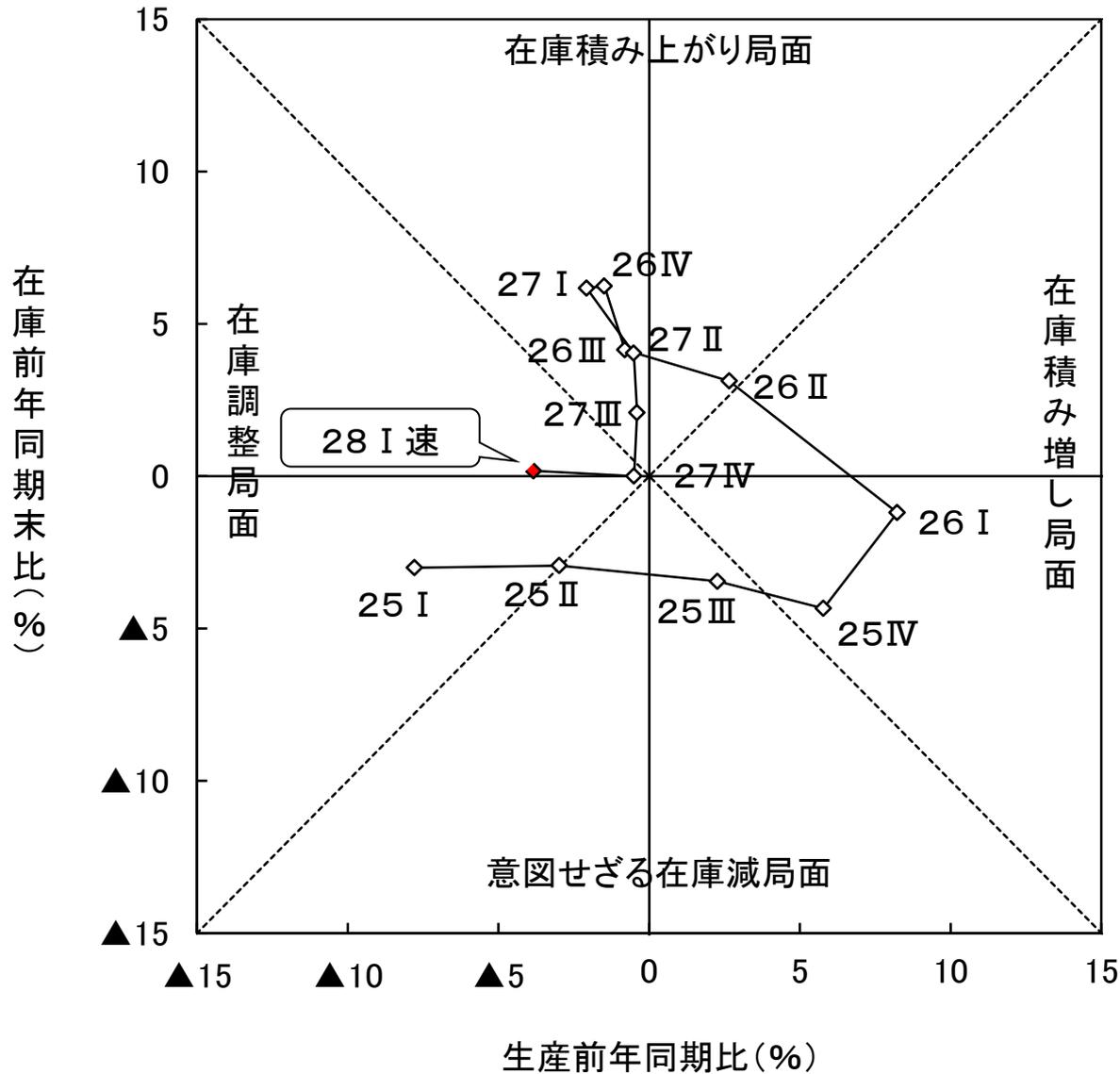
- 平成28年1月の在庫率指数は113.6(前月比▲2.1%)と3か月ぶりの低下。
- 平成27年10月の112.0以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注)薄色シャド一部分は景気後退局面。

鋳工業の在庫循環図



(注)「28 I 速」は1月値を使用。